

ニホンザルの! これが見られたらラッキー

あそぶサル

オラオラーッWW



オラオラーッWW

ぱんぱんなサル



頬袋

じ〜〜〜

ニホンザルは、実は大人になると、ほとんど遊ぶことはありません。最も遊ぶのは1歳の子ザルの時で、それ以降は年齢とともに徐々に遊ぶなくなります。子ザルたちは、遊ぶことで運動技術を発達させたり、他のサルとの関わり方を学んでいくと考えられています。遊びを通して身に付けたものは、集団で暮らすニホンザルにとって、とても重要なことなんですね!!!!

ニホンザルの口の中には、袋のように膨らみ、食料をたくさん入れて運ぶことができます。まるでお弁当箱のような「頬袋」があります。頬袋は、見つけた食料を一時的に保管することができます。方が一食中に危険にさらされても、逃げた後でもまた食事をすることができるなど、とても便利な袋です。その容量はなんと胃袋と同じくらいといわれています。頬袋がぱんぱんなニホンザルがいらないか、探してみてね!!!!

飼

育

苦

勞

話

ホ

ン

ザ

ニ

ル



頬袋ハンパンなサル
頬袋: 食べ物を一時的に
ためこんでおける場所

朝夕の餌の時間は、具体的にこんな
ことに気を付けています。

ズバリ!!
種類と量と場所

種類: なるべく多く!
食べ物によって好き嫌いも
あるため、その差を利用して
おんなが餌をゲットできるように
しています。

量: いっぱい!
立場の弱い個体も確実に
餌をゲットできるようにしています。

場所: 敵お所で給身!
餌場をたくさん作ることで、
苦身な相手とも距離をとりな
がら餌をゲットできるようにして
います。

動物たちは好きな物から食べる
ことが多いです。

特に群れで生活する動物では、
食事の時間にも群れの中での力関係が
はっきりと見えます。

強い個体ならば、誰に遠慮すること
なく、良い場所に陣取り、好きな食べ
物をゲットできます。しかし、立場の
弱い個体だと、餌のある場所に近づく
のも大変なのです。

大所帯のサル山では、群れ全体が
ある程度満足して餌を食べられるよう
毎日の餌の準備にはとても気を
つかっています。



ニホンザルの親子について



生まれた当初



ニホンザルは主に4月下旬~6月下旬に出産します。大森山動物園ではゴールデンウィーク前後によく生まれます。生まれたばかりの子供はこげ茶色をしています。

生まれたばかりの子供



生まれたばかりの子供は母親のお腹にしがみついて生活します。1週間ほどで歩けるようになります。食べ物は母乳です。

生まれて2~3ヶ月後



2~3ヶ月すると毛の色は徐々に薄くなり、母親のお腹以外にも背中に乗るようになります。また母親から、たまに離れて行動し他の子供と遊ぶこともあります。

冬の子供



冬になると母親の母乳も飲みますが自分でエサを取り食べるようになります。

ちなみに父親は子育てするの?



野生のニホンザルのメスは一生同じ群れで生活しますが、オスは大人になると他の群れに出たり入ったりを繰り返します。なのでオスは子育てをしません。

実際祭の親子の写真

